

○事業所名	栗東市児童発達支援センターたんぼぼ教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日 ～ 令和7年3月11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所の児童発達支援 ・保護者の方も児童発達支援の活動に参加していただくことで、子どもの様子が理解やすく、子どもの成長を支える関わり方を知っていただきやすい	・親子で楽しむことができる活動の設定 ・家庭での子どもへの関わりに生かしてもらえよう、支援者の子どもへの関わりを示す	・支援者が子どもへの関わりの見本を示しつつ、保護者が主体的に子どもと関わる事が出来るようにする
2	保護者の子育ての不安を早期に受け止めることができる	・支援者から声をかける ・定期的に懇談の場を設けている ・保護者同士で話せる場、保護者ミーティングを実施	・保護者ミーティングや保護者研修の内容をブラッシュアップする
3	園との連携	・年2回、園とのケース連絡会を実施 ・保護者の了解のもと支援計画を交換し、支援目標や支援方法を共有している	・必要に応じて、連絡会以外での情報共有

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動によって部屋が窮屈と感じられる	・親子通所のため、子ども、保護者、支援者が揃うと20人を超える	・活動によっては、2グループに分ける ・衝突が起きないよう遊具を設定し、動線を確保する
2			
3			